

第86回 野球大会 優勝！日本電設工業！！



平成30年4月30日（月）から5月2日（水）まで、電気新聞・電設工業健康保険組合・日刊建設工業新聞社・日刊建設産業新聞社・日刊建設通信新聞社の協賛により、第86回野球大会を明治神宮外苑軟式球場で開催し、日本電設工業㈱が4年ぶり2度目の優勝を飾った。

この大会は昭和30年に第一回大会が行われ、昭和51年までは年2回、それ以降は年1回開催されています。今大会は32チームが参加して、連日激戦が繰り広げられました。そこで、野球部世話人4名が大会を振り返ってみました。

野球部代表世話人 栗崎 拓也（栗原工業株式会社）



始球式



渾身の一球！！



世話人座談会 2018

世話人A(以下A) 世話人B(以下B) 世話人C(以下C) 世話人D(以下D) 事務局J(以下J)

- J 今年も3日間天気も良く、無事に開催することができました。
- A 東京オリンピックのため、神宮軟式球場で開催できる最後の年だから、無事に終わって良かったよね。
- B 多くの人が応援に来てくれたね。
- C でもお子さんの応援がいつもより少なかった気がするな。
- D 祝日は初日だけだったからかな・・・。
- J 今年のホームラン数は44本で、チーム最多は日本電設工業の11本です。個人最多は関電工の渡部さんで4本でした。
- B 今年からM球に変わって、バウンドが少なく飛距離が伸びたからかい？
一同 そだね～
- D 3連覇中の扶桑電機が2回戦で負ける波乱があったよね。
- C 全体的にレベルが上がってるんだよね。
- A 審判へのルール周知不足で、迷惑をかけた試合があったことが残念だったね。
- B 来年は周知を徹底しましょう！
一同 そだね～
- J 決勝は5年連続進出の日本電設工業と、12年ぶりに優勝を目指すユアテックとの対決になりました。
- C ユアテックは、ピッチャーを中心にまとまったいいチームだったよね。
- D 4年ぶりの優勝となった日本電設工業は、やっぱり選手層が厚かったよね。
- A 好投手が何人もいたし、負傷退場で代わりに出た控えの捕手も活躍してたもんな～。
- C 決勝戦にふさわしい見応えのある試合だったね。
- J 来年、再来年は神宮軟式球場で開催ができないので、会場探しが大変です。
- A 同じ時期に開催できるといいよね・・・。
- B 皆さんに参加してもらえるように、頑張っていきましょう！！
一同 そだね～



アウト!?



真っ向勝負!!



ホームラン賞

※会社名氏名五十音順

会社名	名前	背番号	試合番号
浅海電気(株)	八幡 優介	55	2
(株)関電工	石川 孝	11	28
(株)関電工	小橋 大祐	17	13
(株)関電工	須藤 純介	16	28
(株)関電工	渡部 英明 (1)	14	13
(株)関電工	渡部 英明 (2)	14	13
(株)関電工	渡部 英明 (3)	14	23
(株)関電工	渡部 英明 (4)	14	28
(株)協和エクシオ	千葉 昭仁	2	20
(株)協和エクシオ	村田 裕司 (1)	29	8
(株)協和エクシオ	村田 裕司 (2)	29	20
(株)協和エクシオ	村田 裕司 (3)	29	27
栗原工業(株)	草田 憲佑	7	12
栗原工業(株)	永田 敬介	6	22
栗原工業(株)	山中 登生	12	12
(株)クリハラント	石原 海斗	4	6
(株)クリハラント	福永 健太	9	6
三英電業(株)	浅野 和己	5	12
三機工業(株)	廣瀬 翔吾	6	6
大栄電気(株)	角田 和也	17	3
東邦電気工業(株)	小林 千春	19	15
東邦電気工業(株)	鈴木 勇雄	0	15

会社名	名前	背番号	試合番号
日本電設工業(株)	北 和樹 (1)	7	9
日本電設工業(株)	北 和樹 (2)	7	21
日本電設工業(株)	北 和樹 (3)	7	26
日本電設工業(株)	佐々木 貴広 (1)	2	9
日本電設工業(株)	佐々木 貴広 (2)	2	21
日本電設工業(株)	佐々木 貴広 (3)	2	26
日本電設工業(株)	佐々木 英哲	3	9
日本電設工業(株)	篠原 恭介 (1)	10	9
日本電設工業(株)	篠原 恭介 (2)	10	21
日本電設工業(株)	福田 光	4	21
日本電設工業(株)	吉際 大輔	25	9
日本リーテック(株)	野呂 直達	5	5
日本リーテック(株)	橋本 凌 (1)	14	5
日本リーテック(株)	橋本 凌 (2)	14	27
扶桑電機(株)	江田 尚矢	4	1
(株)ユアテック	神 伸人	3	4
(株)ユアテック	鈴木 啓太	2	4
(株)ユアテック	橋本 卓 (1)	10	4
(株)ユアテック	橋本 卓 (2)	10	18
(株)ユアテック	吉田 佑太 (1)	8	4
(株)ユアテック	吉田 佑太 (2)	8	25
(株)四電工	園部 隼也	17	28

ホームラン数合計 44本

優勝インタビュー



「優勝はうれしいの一言です。準決勝、決勝と1点を争うシリーズゲームでしたが、選手みんなががんばってくれました。決勝ではキャプテンの佐々木君がけがで退場してしまったのですが、代わった松本君がうまくリズムをつくってくれました。キャプテンのためにも勝つことができよかったです！」

吉際 大輔 監督

「全試合で打つことができうれしいです。全打席ホームランを打つつもりで振れたことが、ホームラン3本、三塁打2本という結果につながったと思います。このチームは本当にレベルが高いので、自分も打って盛り上げることができてよかったです。来年もチームに貢献できるようがんばります！」

北 和樹 選手



決勝戦

平成30年5月2日(水) 試合開始10時00分(桜球場)

チーム	回	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
株)ユアテック		0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
日本電設工業(株)		0	0	1	0	0	0	4	0	0	5

優勝	日本電設工業株式会社
準優勝	株式会社ユアテック
三位	日本リーテック株式会社・株式会社関電工
最優秀選手	北 和樹 (日本電設工業株式会社)
敢闘賞	鈴木 啓太 (株式会社ユアテック)

協会ホームページ
 野球大会専用ページのお知らせ

野球部では、協会ホームページ内に野球大会専用ページを設け、過去の大会結果などを公開しています！

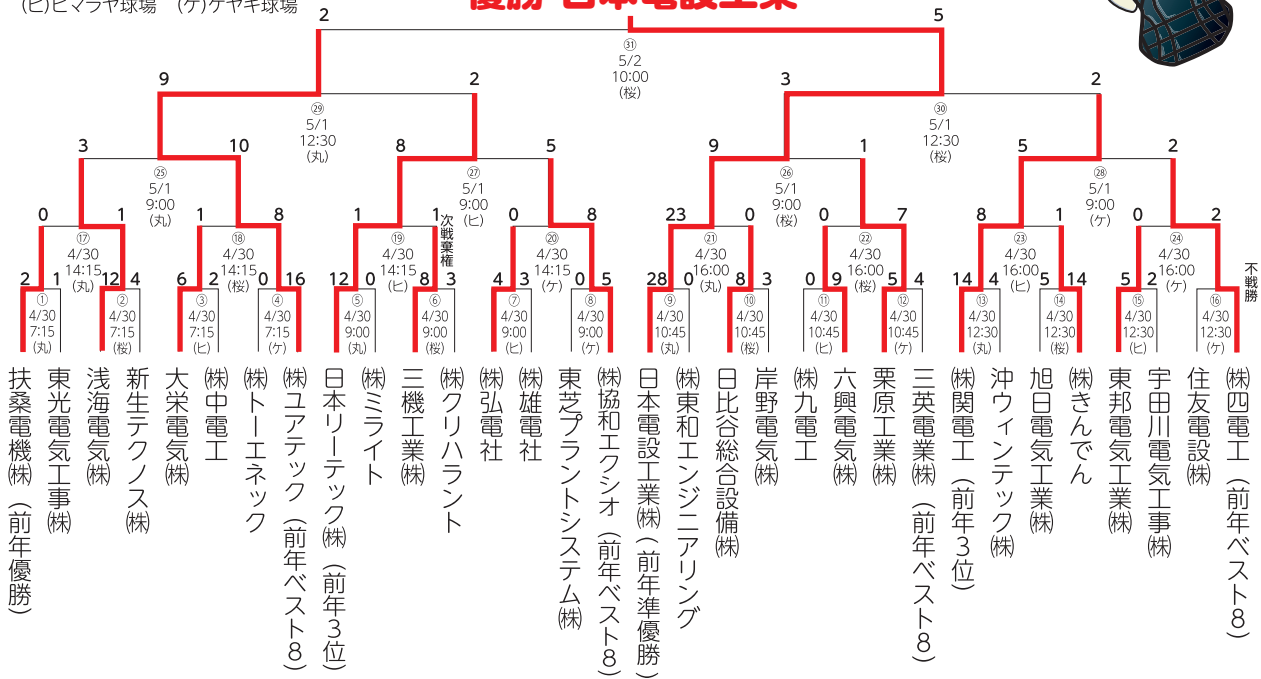
是非ご覧ください！

第86回 大会結果

球場名

(丸)日の丸球場 (桜)桜球場
 (ヒ)ヒマラヤ球場 (ケ)ケヤキ球場

優勝 日本電設工業



過去10年間の大会結果

実施年度	優勝	決勝戦スコア	準優勝	3位
平成20年度	三英電業株式会社	7-2	株式会社きんでん	千歳電気工業株式会社・株式会社東電通
平成21年度	東光電気工事株式会社	9-8	三英電業株式会社	東電通株式会社・日本リーテック株式会社
平成22年度	扶桑電機株式会社	6-1	日本電設工業株式会社	日本リーテック株式会社・株式会社協和エクスオ
平成23年度	株式会社きんでん	12-4	日本電設工業株式会社	東光電気工事株式会社・株式会社東電通
平成24年度	株式会社東電通	2-1	日本電設工業株式会社	株式会社きんでん・日本リーテック株式会社
平成25年度	日本リーテック株式会社	22-9	東光電気工事株式会社	栗原工業株式会社・扶桑電機株式会社
平成26年度	日本電設工業株式会社	2-1	扶桑電機株式会社	株式会社関電工・日本リーテック株式会社
平成27年度	扶桑電機株式会社	11-1	日本電設工業株式会社	株式会社関電工・株式会社きんでん
平成28年度	扶桑電機株式会社	6-4	日本電設工業株式会社	浅海電気株式会社・株式会社ユアテック
平成29年度	扶桑電機株式会社	4-2	日本電設工業株式会社	日本リーテック株式会社・株式会社関電工